

2005年10月  
株式会社ネクステック

## MPLS - IX<sup>\*1</sup> 日本最長ピアリングをサポート

株式会社ネクステックは、2005年9月22日 JGN II 一般利用プロジェクトにおいてMPLS-IX技術を用いた広域IX上では日本最長となる「那覇 - 稚内」間のピアリング（相互接続）をサポートしました。

当社は、さる2005年9月22日に開催された「地域ネットワーク連携ワークショップ 2005 in 沖縄<sup>\*2</sup>」のネットワーク中継に際し、「地域間相互接続実験プロジェクトII(以下RIBB II)<sup>\*3</sup>」と共同で沖縄那覇市のイベント会場と稚内北星学園大学間の伝送用ネットワークを設計し、MPLS-IX 技術を応用した広域IX上では日本最長(直線距離約2,500km)となるピアリング(相互接続)を実現し、MPEG2-HDの広帯域高精細画像伝送をサポートしました。

### 【協力組織】

- 地域間相互接続実験プロジェクトII(RIBB II) <http://www.ribb.org>
- 北海道総合通信網株式会社(HOTnet) <http://www.hotnet.co.jp>
- NPO 法人北海道地域ネットワーク協議会(NORTH) <http://www.north.ad.jp/>
- 同協議会 北海道広域高速学術ネットワーク実証実験プロジェクト(NORTH boreo)

(中継ネットワークの詳細については、別紙ならびに <http://www.north.ad.jp/boreo/20050922okinawa.html> をご参照ください)

\*1 Multi Protocol Label Switch - Internet eXchange

\*2 ワークショップの詳細は <http://www.ribb.org/index.php?event%2F2005-09-22> をご覧ください。

主催: 地域間相互接続実験プロジェクトII(RIBB II)

共催: 日本学術振興会産学協力研究委員会インターネット技術第163委員会(ITRC)

地域ネットワーク活動分科会(RNA)

沖縄情報通信懇談会 JGN II 利用連絡会

\*3 プロジェクトの詳細は <http://www.ribb.org/index.php?RIBB-II> をご覧ください。

JGN2 一般利用プロジェクト(プロジェクト番号 JGN2-A16020)

### < 本件に関する問い合わせ先 >

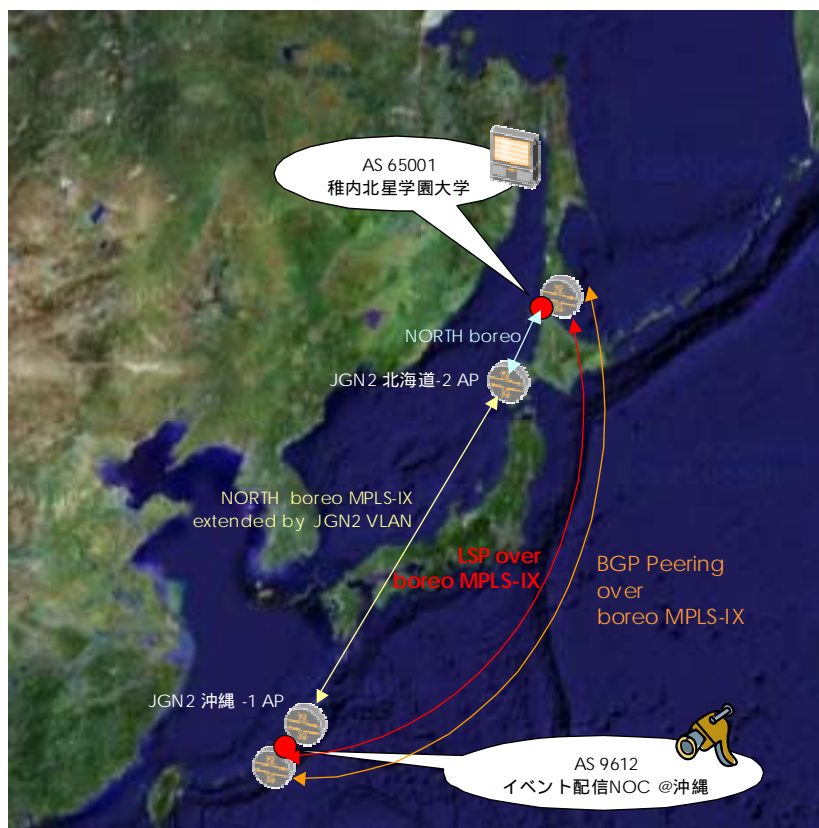
株式会社ネクステック <http://www.nextech.co.jp/>

本件に関する報道関係者のお問い合わせは下記にお願いします。

株式会社ネクステック 広報担当 大谷

連絡先: tel/fax 011-729-3711

E-mail: [info@nextech.co.jp](mailto:info@nextech.co.jp)



地域ネットワーク連携ワークショップ 2005 in 沖縄 イベント中継概念図

2005年4月からNPO法人NORTHの実証実験として運用されている北海道域内広域MPLS-IX(NORTH boreo)を今回のイベント中継のためにJGN2 VLANを介して延長し、沖縄の映像配信ネットワークオペレーションセンター(RIBB II 沖縄 NOC)と稚内北星学園大学のネットワークを直接相互接続(ピアリング)しました。「ピアリング」はIX(Internet eXchange)で用いられる標準的な相互接続の手法で、インターネットの中でAS(Autonomous System:自律ネットワーク)と呼ばれる特殊な扱いを受けるネットワークがBGP4という規約を使って実施する接続手法です。MPLS-IX技術を使ったピアリングとしては**日本最長**(2005年9月末現在)。

伝送ネットワークは、RIBB IIが運営するRIBB II 沖縄 NOCと北海道側のNORTH boreo網をHOTnetがJGN2に申請して準備した回線(VLAN)を介して接続する構成。実際の伝送データは沖縄NOCからRIBB IIスタッフが構成したMPEG2-HD(約30Mbps)の音声・画像で、稚内北星学園大学へはピアリング上をIPv4ユニキャストで、HOTnetと北海道大学へはIPv4マルチキャストで配信されました(稚内北星学園大学、北大はともにboreo参加組織)。

当社はRIBB IIスタッフと共同で、本件中継伝送に関するネットワークおよびピアリングの設計と設定、道内組織間の調整を行いました。